

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

Operating Instructions (page 52)

사용설명서 (64페이지)

使用说明书 (第 76 页)

お買い上げいただきありがとうございます



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation
WALKMAN(워크맨)은 소니 주식회사(SONY Corporation)의 등록 상표입니다。
WALKMAN 是 Sony 公司的注册商标。

WM-GX688

安全のために



- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と-がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコ-ダ-の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
テープを聞く	8
ラジオを聞く	10
録音する	14

テープを聞く - 応用

本体で操作する	18
好きな曲を頭出しする (AMS)	19
テープ走行のしかたを選ぶ (PB MODE)	20
ドルビー B NR で録音されたテープを再生する	21
指定した区間を繰り返し聞く (A-B 区間リピート)	22
テープカウンターを使う	24

ラジオを聞く - 応用

自分で周波数を合わせる (マニュアル選局)	25
放送局を自分で設定する	26
ラジオを聞くときのご注意	29
放送局一覧	30
海外でラジオを聞く	32

その他の機能を使う

高音または低音を強調する (SOUND)	34
音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS)	35
誤操作を防ぐ (ホールド機能)	36

電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は	37
コンセントにつないで使う	39

その他

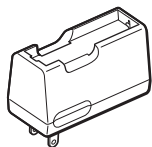
お手入れ	40
使用上のご注意	41
故障かな?	43
保証書とアフターサービス	45
主な仕様	46
各部のなまえ	48

主な特長

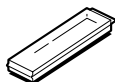
- 聞きたいところをすぐに見つけられる押しただけサーチ。
おけいこや、語学学習にたいへん便利です。
- 付属のステレオマイクまたはラジオからの、オートリバーブ録音機能。
(14ページ)
- テープに合わせて選べる3種類の音質、^{リハイブ}REVIVE、^{メガベース}MEGA BASS、^{グルーブ}GROOVE。(34ページ)
- 語学学習に威力を発揮する、A-B 区間リピート機能。(22ページ)
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。(19ページ)
- 全国8地域とJR新幹線の主な放送局があらかじめプリセット(記憶)された、マニュアルエリアコール機能。(10ページ)
- 充電式電池と乾電池の併用で、約40時間の長時間再生ができる、スタミナタイプ。(38ページ)
- 使いやすい、バックライト付き液晶リモコン。
- テープカウンター表示。(24ページ)

付属品を確かめる

充電器
国内モデルのみ

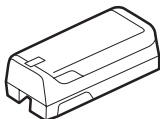


充電地ケース

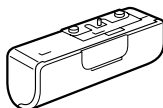


ワールドモデルのみ

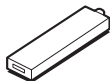
または



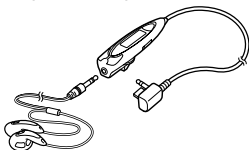
乾電池ケース



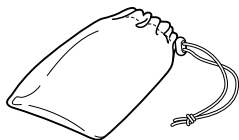
充電式ニカド電池
NC-6WM



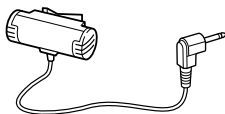
リモコンつきヘッドホン
(リモコン)



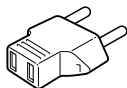
キャリングポーチ



ステレオマイク



ACプラグアダプター
(ワールドモデルのみ)



取扱説明書
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」(39ページ)をご覧ください。

1 充電式電池を充電する

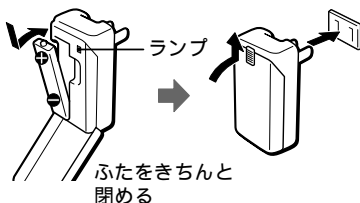
国内モデル用

AC100V



ワールドモデル用

AC 100~240V

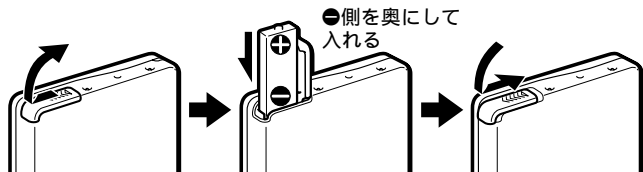


約3時間で充電完了です。

充電器のプラグがコンセントと合わないときは、ACプラグアダプター(ワールドモデルのみ付属)をお使いください。

充電時間は約1時間です。充電中はランプが点灯し、充電が完了するとランプは消えます。

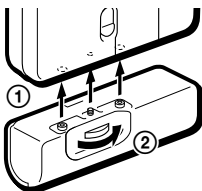
2 充電式電池を入れる



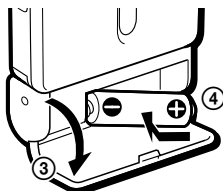
乾電池で使うときは

別売のソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



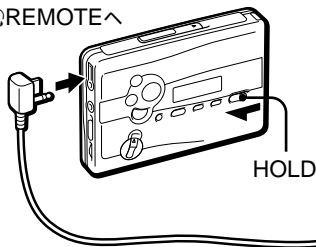
乾電池ケースを
本体に取り付ける



図のように必ず●側から
入れてください

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

REMOTEへ



HOLD

ヘッドホンの
ステレオミニ
プラグをリモ
コンにしっかり
差し込む

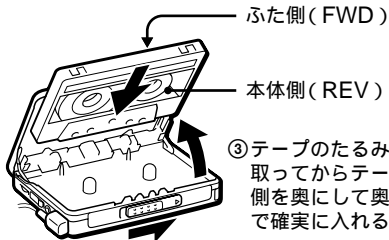
テープを聞く

TYPE I(ノーマル) TYPE II(ハイポジション) TYPE IV(メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセクター機能)。

1 カセットを入れる

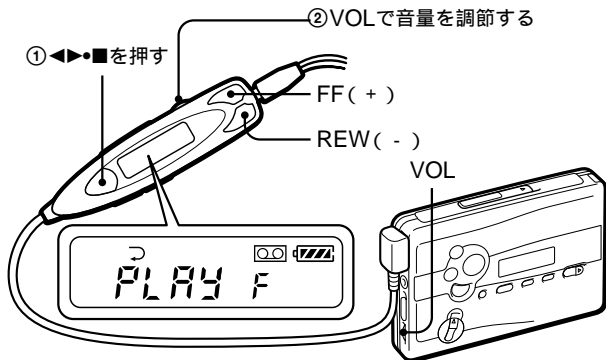
① OPENつまみを矢印の方向にずらす

② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

2 再生する(リモコンで操作する)



リモコンで音量調節するときには、本体のVOLつまみを6程度にします。本体で音量調節するときには、リモコンのVOLつまみを最大にします。

ヘッドホンが耳にぴったり合わないときや、音のバランスが不自然なときは、おさまりのいい位置に調節してください。




「L」を左、
「R」を右の耳に

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に◀▶・■を2秒以上	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	再生中に◀▶・■を1回	ピ
早送り/巻き戻し (停止中)*	停止中にFFまたはREWを1回	ピ(「FF」または「REW」が点灯)
早送り/巻き戻し (押しただけサーチ)	再生中にFFまたはREWを押し続ける 押し続けている間だけ早送り/巻き戻しします。	早送り時: ピ ピ ピ、... (「FF」が点滅) 巻き戻し時: ピ ピピ ピピ、...(「REW」が点滅)
早送りして反対面を再生 (スキップリバース)	停止中にFFを2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、... (「FF」が点滅)
巻き戻して最初から再生 (オートプレイ)	停止中にREWを2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、... (「REW」が点滅)

* 早送り、巻き戻し中に◀▶・■ボタンを押すと再生状態になります。

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」(18ページ)をご覧ください。

 カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

ラジオを聞く

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(マニュアルエリアコール機能)。

お買い上げ時は「AREA 4」(南関東)に設定されています。

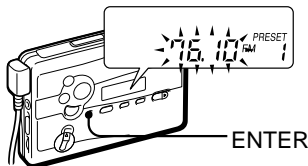
1 ラジオをつける



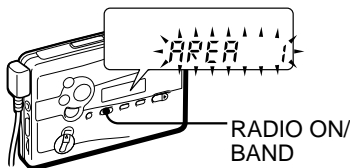
テープ再生中の場合は、◀▶を1度押し
てテープを止めてから、1秒以上押し
てラジオをつけてください。

2 地域を選ぶ

①ENTERを押す



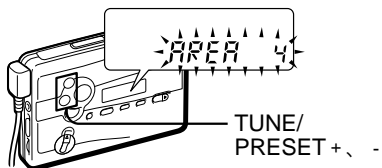
②「AREA 1」表示が点滅
するまでRADIO ON/
BANDを押したままに
する



- ③表示の点滅中にTUNE/PRESET+または- ボタンを繰り返し押し、1~8またはJRのエリア番号を選ぶ。

TUNE/PRESET+ ボタンを押すごとにエリア番号が、1 2 3 4 5 6 7 8 JR USA* Eur* 1 2 3...と変わります。

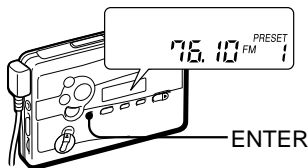
1: 札幌 2: 仙台 3: 北関東 4: 南関東 5: 名古屋
6: 大阪 7: 広島 8: 福岡 JR: 新幹線



* エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのもので、「海外でラジオを聞く」(32ページ)参照。

- 表示の点滅が止まった場合は手順2-①から操作し直してください。
- 各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧」(30~31ページ)をご覧ください。

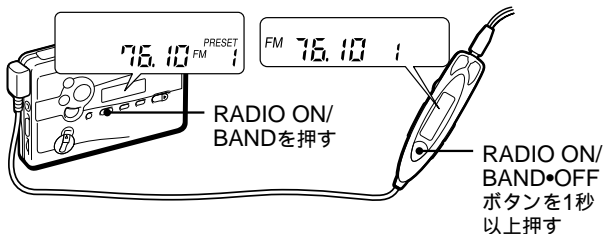
- ④ENTERを押す



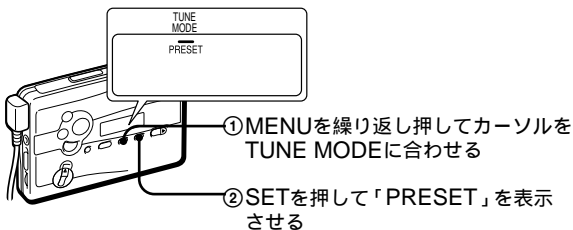
(次ページへつづく)

ラジオを聞く(つづき)

3 AM、FMを選ぶ



4 プリセット選局モードにする



5 放送局を選ぶ



ラジオを消すには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND・OFFボタンを押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局が記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1～5をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM放送

ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけばして使います。

うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる」(25ページ)
「放送局を自分で設定する」(26ページ)参照)

録音する

オートリバース録音ができます。

録音には、TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

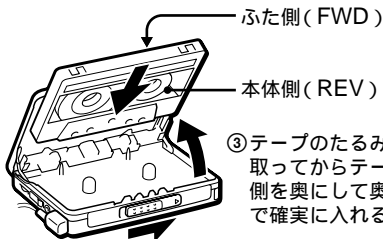
ご注意

- ツメが折れている面には録音できません。(「大切な録音を守るには」(17ページ)参照)
- 録音するときは、なるべく新しい乾電池や十分に充電した充電式電池をお使いください。

1 カセットを入れる

- ① OPENつまみを矢印の方向に
ずらす

- ② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



- ③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

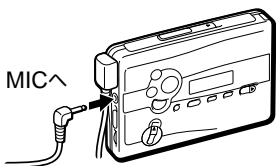
録音する面	カセットの入れかた	走行方向表示
両面を続けて録音するとき	録音を始めた面がふた側になるようにカセットを入れる。	FWD
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	REV

カセットふたを開けると、テープの走行方向は自動的にFWDに設定されます。片面だけに録音するとき、表示がFWDからREVになるまで■ボタンを押したままにします。

2

音源を選ぶ

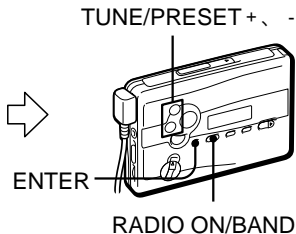
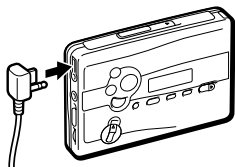
マイク録音の場合
マイクをつなぐ



ラジオ録音の場合

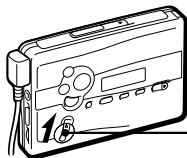
① リモコンをつなぐコード
がFMのアンテナになっ
ています。

② 受信する(「ラジオを聞く」
(10ページ)参照)



3

録音を始める



RECスイッチ
をずらす

表示窓に「REC」が表示されます。

(リモコンでは、ラジオ録音時は「REC」と周波数が交互に表示
されます。)

(次ページへつづく)

録音する(つづき)

録音を止めるには

■ボタンまたはリモコンの◀▶・■ボタンを押します。

AMを録音中に雑音が聞こえたら

本体側面のISSスイッチを、雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

テープが終わりまでくると

ふた側(FWD側)から録音を始めたときは、自動的に本体側(REV側)に切り換わり、REV側の面の終わりまで録音して自動的に止まります(両面録音)。また、REV側から録音を始めたときはその面の終わりまで自動的に止まります(片面のみ録音)。

録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLつまみや音質(RV/MB/GRV)、AVLS、DNRの設定に影響されません。

録音中の音を聞くときは

- 録音中の音はヘッドホンで聞く(モニターする)ことができます。モニター音はVOLつまみで調節できます。
- 録音中の音を聞くときは、録音を始める前に音質の設定を通常音質(リモコンではNORM、本体では表示なし)にしておくことをおすすめします。「RV」、「MB」または「GRV」になっているとモニター音に雑音が入ることがありますが、録音される音には影響ありません。

録音についてのご注意

- 停止状態またはラジオ受信状態でないと、録音は始まりません。
- 録音中は録音面を切り換えることはできません。
- RECスイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- 電池が消耗すると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- 録音するテープにはTYPE K(ノーマル)テープをお使いください。ハイポジションテープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。

- ラジオから録音するときは、録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。
- 両面録音時は、FWD側からREV側に切り換わる際の10秒程度は、録音がとぎれます。
- 録音中は、停止とカウンターリセット(24ページ)以外の操作はできません。

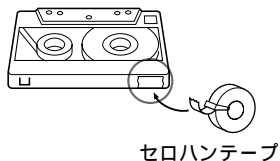
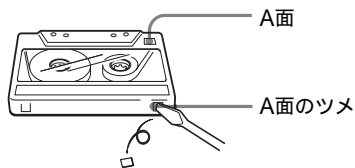
マイク録音について

- ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- 付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。
- マイクのプラグはときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。プラグが汚れていると雑音の原因になることがあります。

大切な録音を守るには

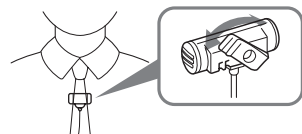
ツメを折って取り除きます。

再び録音するには、穴をふさぎます。



ツメを折った面には、録音することができません。

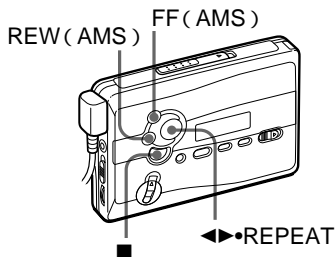
付属のマイクを使うには



クリップはマイクを付ける場所に
合わせて方向が変更されます。

▶テープを聞く - 応用

本体で操作する

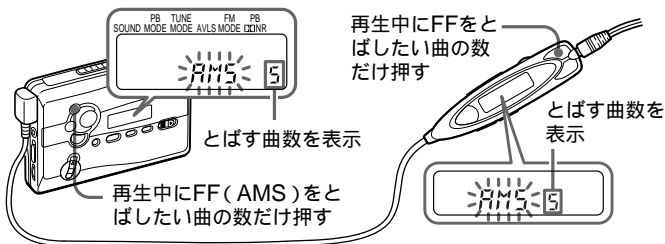


操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	■(停止)	ピ
早送り/巻き戻し(停止中)*	停止中にFFまたはREWを1回	ピ
早送り/巻き戻し(押しただけサーチ)	再生中にFFまたはREWを押し続ける 押し続けている間だけ早送り/巻き戻しします。	早送り時: ピ ピ ピ、... 巻き戻し時: ピ ピピ ピピ、...
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中にFF(AMS)を2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、...
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREW(AMS)を2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、...

* 早送り、巻き戻し中にリモコンの◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

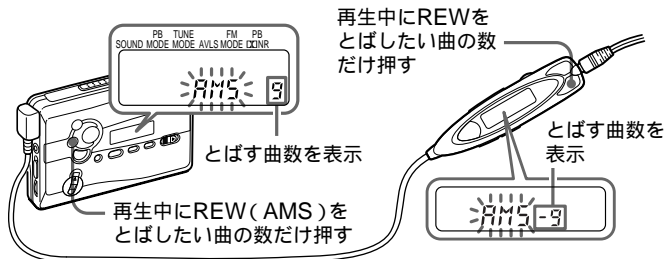
好きな曲を頭出しする (AMS - オートミュージックセンサー)

早送りして何曲か先の曲を再生するには



確認音: ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



確認音: ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

最大9曲までとばすことができます。

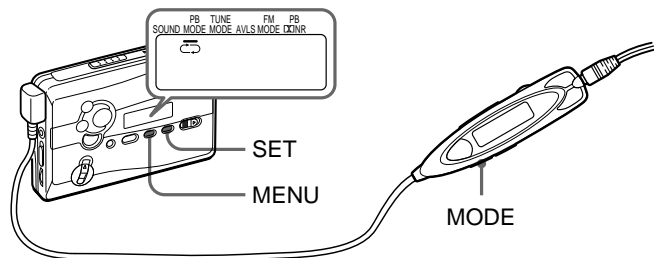
AMSが正しく動作しないことがあります

- AMSでは曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができません。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(43ページ)をご覧ください。

テープ走行のしかたを選ぶ

プレイバックモード

(PB MODE)



テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示

本体表示 (PB MODE)

モード



両面を繰り返し再生



両面を1回再生*

* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

リモコンで操作するには

MODEボタンを繰り返し押し、表示を切り換えます。

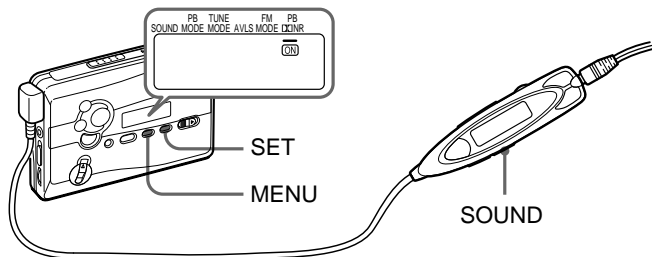
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押し、表示窓のカーソルを、PB MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意

- 設定は、電池を交換しても消えません。

ドルビー* B NRで録音されたテープを再生する



録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には「ON」または「00」を消します。

* ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラポラトリーズの商標です。

リモコン表示	本体表示 (PB 00NR)	モード
00	ON	ドルビーB NR入
表示なし	表示なし	ドルビーB NR切

リモコンで操作するには

表示窓に「00」が表示されるまでSOUNDボタンを押し続けます。

ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には
SOUNDボタンを押して「00」の表示を消します。

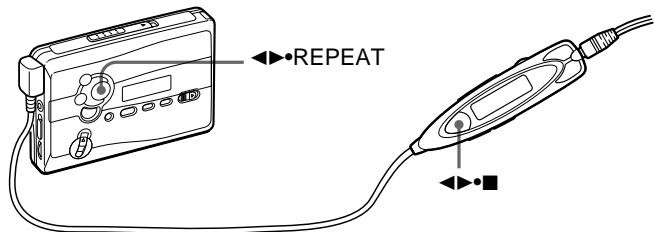
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、PB 00NRの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

ご注意

- ・設定は、電池を交換しても消えません。
- ・本機のドルビーB NR機能は再生専用です。ドルビーB NRの設定を「ON」にしても、ドルビーB NR機能を使った録音はできません。

指定した区間を繰り返し聞き (A-B区間リピート)



指定した区間を繰り返し聞きことができます。

テープ再生中、繰り返し聞きたい区間の最初(A点)と最後(B点)を指定します。

リモコンで操作する

- 1 テープ再生中に◀▶●■をすばやく2回押して、A点を指定する
- 2 そのあとで◀▶●■をもう一度押して、B点を指定する
指定した区間が繰り返し再生されます。

本体で操作する

- 1 テープ再生中に◀▶●REPEATを2秒以上押して、A点を指定する
本体の表示窓に「A-」が点滅します。
- 2 そのあとで◀▶●REPEATをもう一度押して、B点を指定する
本体の表示窓に「A-B」が点滅したあと「REP」が表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-B区間リピートを止めるには

リモコンの◀▶・■または本体の◀▶・REPEATボタンを押します。

テープは通常の再生に戻ります。

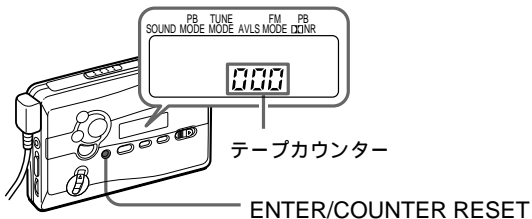
ご注意

- テープのFWD(REV)面からREV(FWD)面にまたがるA-B区間リピートはできません。
- 2秒以下のリピート区間を設定することはできません。
- テープのたるみやテープ操作の繰り返しによって、リピート区間に多少のズレが生じることがあります。
- A-B区間リピートは、50回繰り返すと、通常の再生に戻ります。
- A-B区間リピート中に停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(43ページ)をご覧ください。
- 90分を超えるテープでは、A-B区間リピートはしないでください。テープを傷めるおそれがあります。

テープカウンターを使う

テープ再生中、録音中、早送り、巻き戻し中、停止中(ラジオ受信時を除く)に表示されます。

FWD面録音/再生中は数字が増え、REV面録音/再生中は数字が減ります。テープカウンターを「000」に戻すには、ENTER/COUNTER RESETボタンを押します。

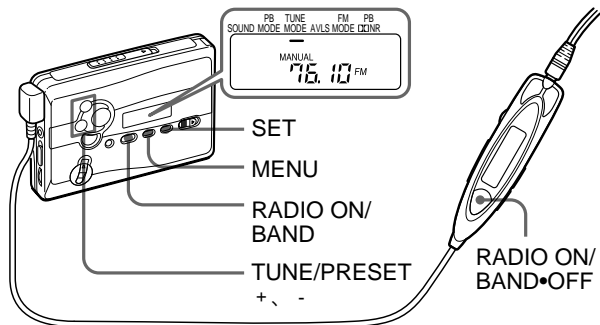


ご注意

- テープカウンター表示は少しずれることがあります。
- カセットテープが入っていないときは、テープカウンターは表示されません。

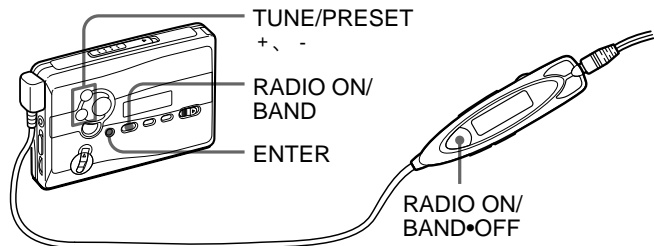
▶ラジオを聞く - 応用

自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)



- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押し続けてAMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押し続けて、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「MANUAL」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET +または- ボタンを繰り返し押し続けて表示窓を見ながら周波数を合わせる
(リモコンでは、+または-ボタンを繰り返し押す)
TUNE/PRESET +または- ボタンを長めに押し続けて離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(オートスキャン)。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET +または- ボタンを繰り返し押し続けて周波数を合わせてください。

放送局を自分で設定する



□ 自動で受信して記憶させる (オートメモリースキャン)

受信できる局を自動的に記憶させます。AMまたはFMを各8局まで記憶できます。受信状態のよい場所で操作してください。

- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押ししてAMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFを1秒以上押す)
- 3 本体の表示窓に「A」表示が出るまでENTERボタンを押したままにする

受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。

記憶が完了すると、周波数と表示が止まり、プリセット番号が表示されます。

記憶した放送局を受信するには
28ページをご覧ください。

放送局を記憶している間に電源を抜かないでください
受信した放送局が記憶されないことがあります。

ご注意

- 電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。
- エリア番号を切り換えると、放送局の記憶は30～31ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

□ 手動で受信して記憶させる (マニュアルメモリー)

AM、FMを各8局まで記憶できます。

- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける**
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND・OFFを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押ししてAMまたはFMを選ぶ**
(リモコンでは、RADIO ON/BAND・OFFを1秒以上押す)
- 3 ENTERボタンを押す**
周波数表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中*にTUNE/PRESET+または-ボタンを繰り返し押しして記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す**
プリセット番号表示が点滅します。
- 5 表示の点滅中*にTUNE/PRESET+または-ボタンを繰り返し押しして記憶させたいプリセット番号を点滅させる**
- 6 表示の点滅中にENTERボタンを押す**
これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

* 表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

記憶した放送局を受信するには
28ページをご覧ください。

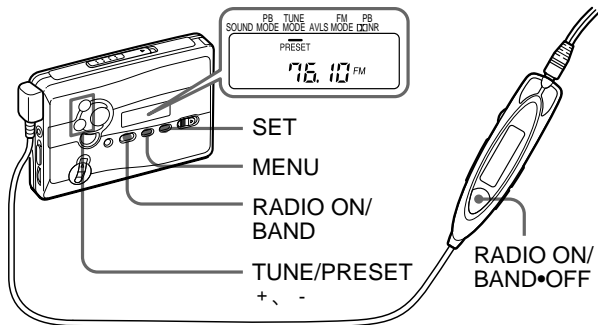
ご注意

- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。
- エリア番号を切り換えると、放送局の記憶は30～31ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

放送局の記憶を消すには

- 1 27ページの「手で受信して記憶させる」の手順1から3を行い、周波数表示を点滅させる
- 2 表示の点滅中にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し続けて「 - - - - 」* を表示させる
* 「 - - - - 」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。
- 3 ENTER ボタンを押す
プリセット番号表示が点滅します。
- 4 表示の点滅中にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し続けて消したい放送局のプリセット番号を選ぶ
- 5 ENTER ボタンを押す

□ 記憶した放送局を受信する (プリセット選局)



- 1 RADIO ON/BAND ボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFを1秒以上押す)

- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押し押ししてAMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND・OFFを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押し押しして、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「PRESET」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し押ししてプリセット番号を選ぶ
(リモコンでは、+または-ボタンを繰り返し押し押し)

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなる場合があります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押し押しして、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし(ステレオ)にします。電波が強すぎてひずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。なお、AMはステレオにはなりません。

放送局一覧

エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

AREA 1 札幌 (Sapporo)

バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号	
AM 1	567kHz	NHK第1放送
2	747kHz	NHK第2放送
3	1287kHz	北海道放送
4	1440kHz	札幌テレビ放送
FM 1	80.4MHz	FM北海道
2	82.5MHz	FMノースウェーブ
3	85.2MHz	NHK FM札幌
4	88.2MHz	NHK FM名寄

AREA 2 仙台 (Sendai)

AM 1	891kHz	NHK第1放送
2	1089kHz	NHK第2放送
3	1260kHz	東北放送
FM 1	77.1MHz	FM仙台
2	82.5MHz	NHK FM仙台

AREA 3 北関東 (Northern Kanto)

AM 1	594kHz	NHK第1放送
2	693kHz	NHK第2放送
3	810kHz	AFN(JBFEN)
4	954kHz	TBS
5	1134kHz	文化放送
6	1197kHz	茨城放送
7	1242kHz	ニッポン放送
8	1530kHz	栃木放送
FM 1	76.4MHz	FM栃木
2	78.8MHz	放送大学
3	80.0MHz	TOKYO FM
4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
5	81.6MHz	NHK FM前橋
6	83.2MHz	NHK FM水戸
7	86.3MHz	FM群馬

AREA 4 南関東 (Southern Kanto)

バンドプリセット	周波数	放送局名
	番号	
AM 1	594kHz	NHK第1放送
2	693kHz	NHK第2放送
3	810kHz	AFN(JBFEN)
4	954kHz	TBS
5	1134kHz	文化放送
6	1242kHz	ニッポン放送
7	1422kHz	ラジオ日本
FM 1	76.1MHz	FMインターウェーブ
2	78.0MHz	FMサウンド千葉
3	78.6MHz	FM 富士
4	79.5MHz	FM 埼玉
5	80.0MHz	TOKYO FM
6	81.3MHz	FM ジャパン
7	82.5MHz	NHK FM東京
8	84.7MHz	横浜FM

AREA 5 名古屋 (Nagoya)

AM 1	729kHz	NHK第1放送
2	909kHz	NHK第2放送
3	1053kHz	CBC中部日本放送
4	1332kHz	東海ラジオ
5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM 1	77.8MHz	FM名古屋
2	78.9MHz	FM三重
3	80.7MHz	FM愛知
4	81.8MHz	NHK FM津
5	82.5MHz	NHK FM名古屋
6	83.6MHz	NHK FM岐阜

AREA 6 大阪 (Osaka)

バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	558kHz	ラジオ関西
	2	666kHz	NHK第1放送
	3	828kHz	NHK第2放送
	4	1008kHz	ABC朝日放送
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	毎日放送
	7	1314kHz	ラジオ大阪
	8	1431kHz	和歌山放送
FM	1	76.5MHz	関西インターメディア
	2	80.2MHz	FM802
	3	82.8MHz	NHK FM京都
	4	85.1MHz	FM大阪
	5	86.5MHz	NHK FM神戸
	6	88.1MHz	NHK FM大阪
	7	89.4MHz	FM京都
	8	89.9MHz	FM兵庫

AREA 7 広島 (Hiroshima)

AM	1	702kHz	NHK第2放送
	2	918kHz	山口放送
	3	1071kHz	NHK第1放送
	4	1116kHz	南海放送
	5	1350kHz	中国放送
	6	1575kHz	AFN (IBFEN)
FM	1	78.2MHz	広島FM
	2	88.3MHz	NHK FM広島

AREA 8 福岡 (Fukuoka)

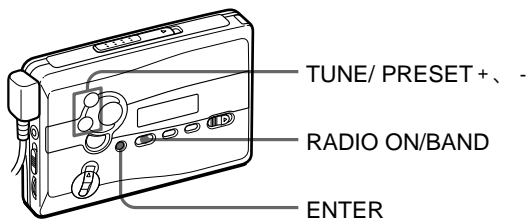
AM	1	612kHz	NHK第1放送
	2	1017kHz	NHK第2放送
	3	1278kHz	RKB毎日放送
	4	1413kHz	九州朝日放送
FM	1	77.9MHz	FM佐賀
	2	78.7MHz	FM九州
	3	80.7MHz	FM福岡
	4	81.6MHz	NHK FM佐賀
	5	84.8MHz	NHK FM福岡

JR JR新幹線* (Shinkansen)

バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
FM	1	76.0MHz	-
	2	76.6MHz	-
	3	77.5MHz	-
	4	78.8MHz	-
	5	79.6MHz	-

* 東京～博多間の新型車両の列車のみ(2階建て車両とグリーン車を除く)

海外でラジオを聞く



- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示を点滅させる
- 3 「AREA 1」表示が点滅するまでRADIO ON/BANDボタンを押したままにする
- 4 表示の点滅中*にTUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押しして「USA」または「Eur」を選ぶ

* 表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ	USA	FM: 87.5 - 108MHz
中南米諸国		AM: 530 - 1 710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz
		AM: 531 - 1 602kHz

- 5 ENTERボタンを押す
- 6 「自分で周波数を合わせる」(25ページ)または「放送局を自分で設定する」(26ページ)にしたがって受信する

ご注意

- 「USA」または「Eur」にエリアを切り換えると、「AREA1~8」または「JR」に自分で設定した放送局(26、27ページ)の記憶は消えてしまいますのでご注意ください。

日本の周波数に戻すには

手順1から3にしたがって操作し、手順4で「AREA1～8」または「JR」を選んでENTERボタンを押します。

ご注意

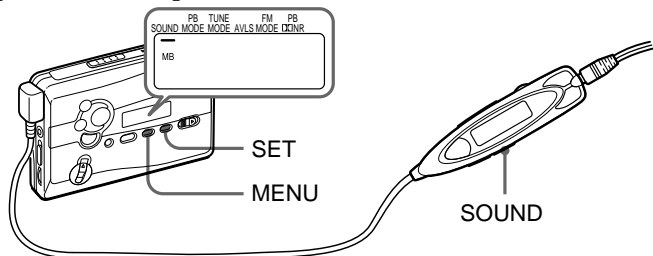
- 一度エリアを切り換えてから「AREA1～8」または「JR」に戻すと、自分で設定した放送局(26、27ページ)がある場合も、放送局の記憶は30～31ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

▶その他の機能を使う

高音または低音を強調する

サウンド

(SOUND)



リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示	音質
リバイブ RV	高音を強調(古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき)
メガベース MB	低音を強調
グループ GRV	低音をより強調
表示なし	通常の音質

リモコンで操作するには

SOUNDボタンを繰り返し押して、設定を選びます。
通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

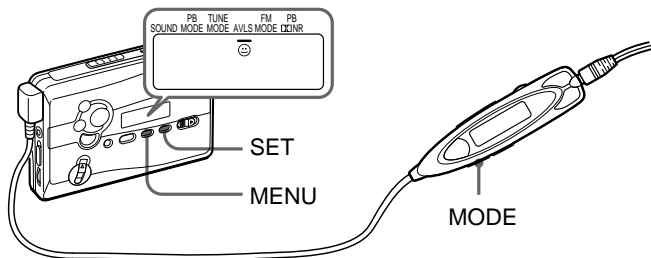
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、設定を選びます。通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、他の設定を選ぶか、または本体の音量を下げてお聞きください。
- 設定は、電池を交換しても消えません。
- 音質の設定は、録音される音には影響しません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS—快適音量)



リモコン表示

本体表示 (AVLS)

モード

AVLS

☺

AVLS入

表示なし

表示なし

AVLS切

リモコンで操作するには

表示窓に「AVLS」が表示されるまでMODEボタンを押します。

AVLSを解除するには

「AVLS」が消灯するまでMODEボタンを押したままにします。

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「☺」を表示させます。

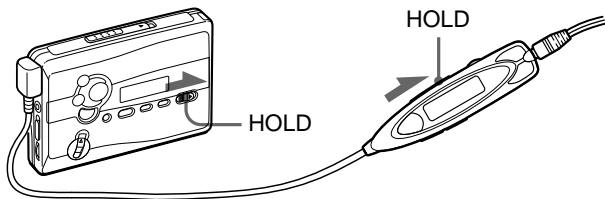
AVLSを解除するには

SETボタンを押して、「☺」の表示を消します。

ご注意

- AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。
- AVLSの設定は、録音される音には影響しません。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。

乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示



本体表示



意味

残量は充分です。 残量が少なくなってきました。 電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

(次ページへつづく)

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ 乾電池LR6(SG)**	約31.5時間	約32時間	約10時間	約6.5時間
充電式ニカド電池 NC-6WM (100%充電にて)	約8.5時間	約10時間	約4時間	約3時間
充電式ニカド電池と ソニーアルカリ乾電池 の併用	約40時間	約42時間	約13時間	約9時間

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用)

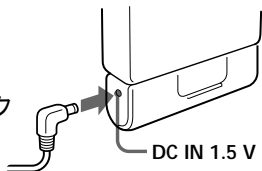
**日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意

- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。
- マンガン乾電池でご使用になると、A-B区間リピートやAMS中などに停止してしまう場合があります。

コンセントにつないで使う

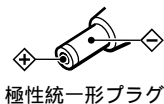
- 1 乾電池ケースを本体に取りつける
充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプター
AC-E15L(日本国内用)または
AC-E15HG(海外用)を、乾電池
ケース側面のDC IN 1.5Vジャック
につなぐ



- 3 ACパワーアダプターをコンセント
につなぐ

コンセントにつないで使うときはご注意ください。

- 必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC-E15HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。



▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングカセット(C-1KW/CHK-1W)でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください
他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

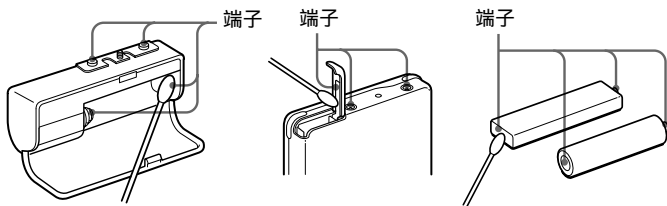
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをととき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



使用上のご注意

充電・充電式電池について

- 付属の充電器では指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池は約300回充電できます。

日本国内での充電式電池の廃棄について



ニカド電池は、リサイクルできます。不要になったニカド電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Ni-Cd

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先:
社団法人電池工業会 TEL:03-3434-0261
ホームページ:<http://www.baj.or.jp>

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60 以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。

(次ページへつづく)

- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりがたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音の伸びが悪くなる場合がありますので、なるべくお使いにならないでください。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
A-B区間リピート、AMSや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。(A-B区間リピートやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。)	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
「ピピピピ」とエラー音が鳴り、操作できない	電源が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」(36ページ)参照
「ピピピピピピピ」と鳴り、テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。

その他

症状	原因	処置
A-B区間リピート ができない	A-B区間を2秒以内で 設定しようとした。	A-B区間を2秒以上に設定す る。
RECスイッチを ずらすと警告音が 鳴り、録音が始ま らない	テープの誤消去防止用 のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどで ふさぐ。「大切な録音を守る には」(17ページ)参照
音量が大きくなる ない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれ を抑え耳にやさしい音にす る」(35ページ)参照
低音が強すぎたりひずん だように聞こえる	音質がRV、MBまたは GRVになっている。	音質を通常の設定にする。 「高音または低音を強調す る」(34ページ)参照
動作や表示がおかしい	----	いったん電源・電池(乾電 池、充電式電池)をはずし て、15秒以上たってから入 れ直す。
表示窓の表示が一瞬消え ることがある ラジオを聞いたりテープ の再生はできるが、録音 ができない	電池が消耗している	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアル カリ乾電池と交換する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

その
他

主な仕様

テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲	再生時 (DOLBY NR OFF時): 40 ~ 15 000 Hz (EIAJ') 録音・再生時: 100 ~ 8,000 Hz
入力端子	マイク (ステレオミニ) ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック (専用リモコンジャック) 1個 負荷インピーダンス 8 ~ 300
実用最大出力 (DC時)	3 mW + 3 mW (EIAJ' 16)
電源	DC 1.5 V 充電式電池 (付属: NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd) 単3形乾電池1個
電池持続時間 (EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」 (38ページ)をご覧ください。
外形寸法	約108.4 × 77.7 × 23.0 mm (幅/高さ/奥行き) (最大突起含まず)
最大外形寸法	約108.4 × 77.7 × 23.4 mm (幅/高さ/奥行き) (突起含む) (EIAJ*)
質量	約148 g (本体のみ) 約172 g (本体+充電式電池NC-6WM) (EIAJ*)

ラジオ部

受信周波数 (日本国内)	FM (ステレオ): 76.0 ~ 90.0MHz AM (モノラル): 531 ~ 1 710kHz
--------------	--

別売りアクセサリ

ACパワーアダプターAC-E15L(日本国内用)

ACパワーアダプターAC-E15HG(海外用)

充電式ニカド電池 NC-6WM

クリーニングカセットC-1KW、CHK-1W

ステレオイヤーレシーバー(ヘッドホン)** MDR-ED238SP(GROOVE対応)、MDR-Q33SL、MDR-E888SP、MDR-848SP、MDR-EX70SL

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

国によって扱っているアクセサリが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

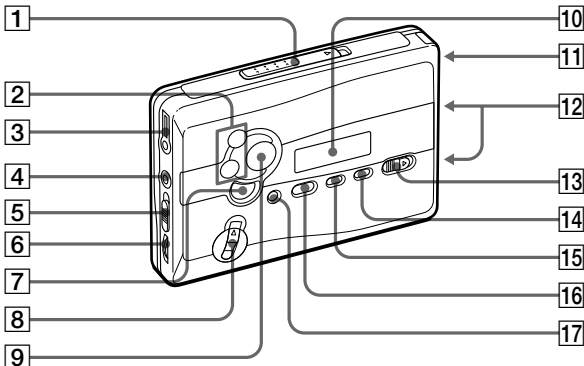
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

**ヘッドホンは、本体の○REMOTEジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものを求めください。

各部のなまえ

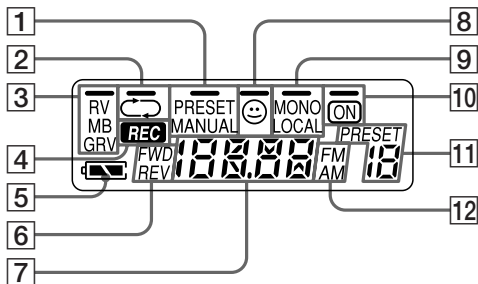
本体





- 1 OPEN (カセットぶた開け) つまみ
- 2 テープ時: FF (早送り・AMS) / REW (巻き戻し・AMS) ボタン
ラジオ時: TUNE (選局) / プリセット PRESET +、- (放送局番号選択) ボタン
- 3 REMOTE (ヘッドホン、リモコン) ジャック
- 4 MIC ジャック
- 5 ISS (AM放送録音妨害除去) スイッチ
- 6 VOL (音量調節) つまみ
- 7 テープ時: ■ (停止) ボタン
ラジオ時: RADIO OFF (ラジオ電源切) ボタン

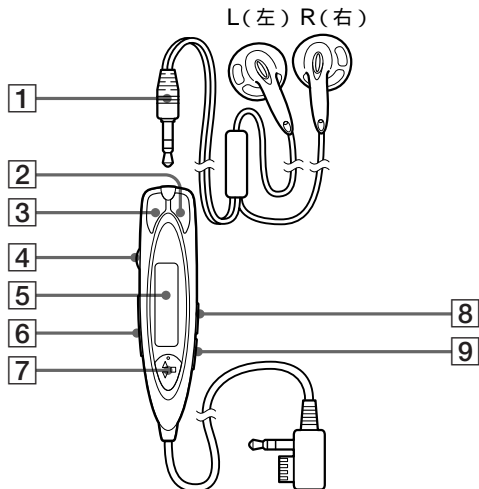
- レコーディング
- 8 REC (録音) スイッチ
- 9 ◀▶ (再生)・REPEAT ボタン
- 10 液晶表示窓
- 11 充電式電池入れ
- 12 乾電池ケース用接点
- 13 HOLD (誤操作防止) スイッチ
- 14 SET (機能設定) ボタン
- 15 MENU (機能選択) ボタン
- 16 RADIO ON (ラジオ電源入) / BAND (FM、AM選択) ボタン
- 17 テープ時:
カウンター リセット
COUNTER RESET ボタン
- ラジオ時:
エンター
ENTER (入力) ボタン

表示窓



- | | |
|---|--|
| <p>1 選局方法表示
プリセット
(PRESET/MANUAL)</p> <p>2 テープ走行方法表示
(/)</p> <p>3 音質表示 (RV/MB/GRV)
レコーディング</p> <p>4 REC (録音) 表示</p> <p>5 電池交換お知らせ表示</p> <p>6 テープ走行面表示
(FWD/REV)</p> | <p>7 テープ操作時:
テープカウンター表示
ラジオ操作時:周波数表示</p> <p>8 AVLS表示</p> <p>9 FM受信方法表示
(MONO/LOCAL)</p> <p>10 ドルビーB NR ON表示</p> <p>11 プリセット表示と
プリセット番号</p> <p>12 バンド表示 (FM/AM)</p> |
|---|--|

リモコンつきヘッドホン

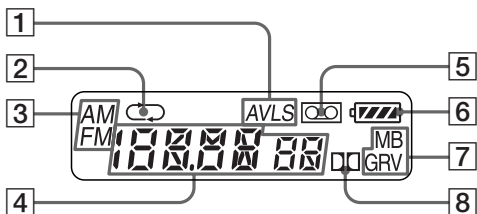




- ① ステレオミニプラグ
- ② REW(-)(巻き戻し・AMS) ボタン
- ③ FF(+)(早送り・AMS) ボタン
ボリューム
- ④ VOL(音量調節)つまみ
- ⑤ 液晶表示窓*
ホールド
- ⑥ HOLD(誤操作防止)スイッチ
- ⑦ テープ時: ◀▶(再生)・
■(停止)ボタン
ラジオ オン
ラジオ オフ
ラジオ ON/
バンド オフ
BAND・OFF(ラジオ電源切)
ボタン

- ⑧ ^{サウンド}SOUNDボタン
- ⑨ ^{モード}MODEボタン

* 液晶バックライトについて
リモコン操作時、本体操作時、電池
残量表示が変化したときなどに、自
動的に約5秒間点灯します。

表示窓



- | | |
|--|--------------------|
| ① AVLS表示 | ⑤ カセット有 / 無表示 |
| ② テープ走行方法表示
( / ) | ⑥ 電池交換お知らせ表示 |
| ③ バンド表示 (FM/AM) | ⑦ 音質表示 (RV/MB/GRV) |
| ④ テープ操作時:
テープ動作状態表示
ラジオ操作時:周波数表示 | ⑧ ドルビーB NR ON表示 |

Choosing a Power Source

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

Note

- For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Rechargeable Battery

- 1 Insert the supplied rechargeable battery (NC-6WM) into the charger with correct polarity. See the ⊕ and ⊖ indications on your charger.
- 2 Plug in the charger to the house current (mains).
Japanese model: Full charging takes about 3 hours.
“Sony World Model”: Full charging takes about 1 hour.
 If the plug does not fit to your mains, attach the supplied AC plug adaptor.
- 3 Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.

You can charge the battery about 300 times.

When to replace/charge the battery

Replace or charge the battery when “□” flashes in the display.

Battery life

(Approx. hours) (EIAJ*)

Sony alkaline LR6 (SG)**

Tape playback	31.5
Radio reception	32
MIC recording	10
Radio recording	6.5

Rechargeable battery (NC-6WM)

Tape playback	8.5
Radio reception	10
MIC recording	4
Radio recording	3

Sony alkaline LR6 (SG)** and Rechargeable NC-6WM

Tape playback	40
Radio reception	42
MIC recording	13
Radio recording	9

* Measured value by the standard of EIAJ (Electronic Industries Association of Japan). (Using a Sony HF series cassette tape)

**When using a Sony LR6 (SG) "STAMINA" alkaline dry battery (produced in Japan).

Note

- The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.

House Current

Remove the rechargeable battery if inserted. Attach the battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG (not supplied) to the DC IN 1.5 V jack of the battery case and to the wall outlet.

Do not use any other AC power adaptor.

Specifications for AC-E15HG vary for each area. Check your local voltage and the polarity of the plug before purchasing.



Polarity of the plug

Playing a Tape

- 1 Insert a cassette and if the HOLD function is on, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow to unlock the controls.
- 2 Press ◀▶ (play) • ■ (stop) on the remote control and adjust the volume with VOL. (On the main unit, press ◀▶ • REPEAT.)

When adjusting the volume on the main unit

Set the VOL control on the remote control at maximum.

When adjusting the volume on the remote control

Set the VOL control on the main unit to around 6.

Operation on the remote control

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•■ for 2 seconds or more during playback
Stop playback	◀▶•■ once during playback

Operation on the main unit

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)

Other tape operations

To	Press
Fast forward	FF during stop* or during playback <i>During playback, the tape is fast-forwarded as long as FF is pressed.</i>
Rewind	REW during stop* or during playback <i>During playback, the tape is rewound as long as REW is pressed.</i>

To	Press
Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS**)	FF once/ repeatedly during playback
Play the current track/ previous 8 tracks from the beginning (AMS**)	REW once/ repeatedly during playback
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF for 2 seconds or more during stop
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW for 2 seconds or more during stop

* If ◀▶•■ on the remote control is pressed during fast forward or rewind, the Walkman switches to playback.

**Automatic Music Sensor

A-B Repeat

A-B Repeat plays back repeatedly any portion of the tape you specified. Specify by tagging the beginning (point A) and the end (point B) of the portion during playback.

On the remote control

- 1 Press ◀▶•■ for 2 seconds or more during playback to tag point A.
“A-” will flash in the display of the main unit.
- 2 Press ◀▶•■ again to tag point B.
“A-B” will flash and the tape will be rewound to point A. Then “REF” appears in the display and the specified portion is played repeatedly.

On the main unit

- 1 Press ◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback to tag point A.
“A-” will flash in the display of the main unit.
- 2 Press ◀▶•REPEAT again to tag point B.
“A-B” will flash and the tape will be rewound to point A. Then “REF” display and the specified portion is played repeatedly.

To cancel the A-B Repeat playback

Press ◀▶•REPEAT on the main unit.

On the remote control, press ◀▶•■.

Notes

- You cannot specify a repeat portion to include both sides of the tape.
- You cannot specify a repeat portion of shorter than 2 seconds.
- After repeated operation, the actual portion that is played back may shift off somewhat from the exact portion specified with the tags due to tape slack.
- A-B Repeat will repeat 50 times before returning to normal playback if not canceled manually.
- Do not use the A-B Repeat function with tapes longer than 90 minutes. If you do, the tape may be damaged.

Recording

You can record radio programs from the built-in radio, or record with the supplied microphone. In either case, use a new or fully charged battery.

Note

- If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.

1 Insert a normal (TYPE I) tape.

To record on both sides

Insert the cassette with the side to be first recorded on as the FWD (forward) side*.

- * Make sure that "FWD" is displayed. If not, press and hold **■** until "REV" changes to "FWD".

To record on one side only

Insert the cassette with the side to be recorded on as the REV (reverse) side**.

- **Make sure that "REV" is displayed. If not, press and hold **■** until "FWD" changes to "REV".

Note

- When the cassette holder is opened, the direction of the tape will be automatically set to "FWD".

2 Select a recording source:

To record with the microphone

Connect the supplied microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack.

To record from the radio

Tune in to the station you want to record (see "Listening to the Radio").

3 Slide REC.

"REC" appears in the display and recording starts after about 2 seconds.

If you have started recording from the FWD side, recording will switch to reverse side automatically at the end of the FWD side.

To stop recording

Press **■** (on the remote control, press **◀▶•■** to stop recording).

To reduce noise while recording AM programs

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

To monitor the recording sound


You can monitor the recording sound through headphones/earphones. Adjust monitoring level using VOL.

Note

- You may hear some noise in the monitor sound in the RV, MB, or GRV mode, but this does not affect recording.

Notes on recording

- The recording level is fixed.
- Sound emphasis (RV, MB, or GRV), AVLS and Dolby B NR settings do not affect recording.
- Actual recording will start about 2 seconds after you slide REC. Slide REC about 2 seconds before the moment you want to start recording, or you will miss the beginning of your recording.
- When recording on both sides, recording will not be made for about 10 seconds while the tape is switching sides.

- Do not use a high-position (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the earphones to/from  REMOTE while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- To avoid noise interference, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp when recording with the microphone.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- All other operation cannot be made while recording. For other operation, stop recording first.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and/or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Listening to the Radio

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press MENU on the main unit repeatedly and set “_” (the cursor) in the display of the main unit to TUNE MODE.

4 For manual tuning

- ① Press SET to choose MANUAL.
- ② Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station.

Hold down TUNE/PRESET + or – for a few seconds to scan for stations.

For preset tuning

- ① Press SET to choose PRESET.
- ② Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to recall the desired preset station.

To use preset tuning, preset stations first (see “Tuning in to the Ready- preset Stations for Each Area” or “Presetting Radio Stations”).

To turn off the radio

Press RADIO OFF .

To improve the broadcast reception

- For AM: Reorient the unit itself.
- For FM: Extend the remote control cord (antenna). If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor in the display to FM MODE. Then press SET to choose from “MONO” (monaural), “LOCAL” or none (stereo) for best reception.

To operate from the remote control

To turn on the radio, press RADIO ON/BAND•OFF for more than one second (while the tape is in stop mode only).

To select the band, press RADIO ON/BAND•OFF for more than one second while the radio is on.

To tune in or recall a preset station, press PRESET+ or -.

To turn off the radio, press RADIO ON/BAND•OFF.

Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area (Manual Area Call)

For each of the nine areas in Japan (Sapporo, Sendai, Northern Kanto, Southern Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Fukuoka and the Shinkansen), this Walkman is factory preset with frequency data for major stations receivable in the area. Once your present area is selected, you can tune in to the stations on the area by preset tuning. For the factory preset stations for each area, see pages 30 to 31 of the Japanese text.

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.
- 3 Hold down RADIO ON/BAND until "AREA 1" flashes.
- 4 While "AREA 1" is flashing, press TUNE/PRESET+ or - repeatedly to select an area number from 1 to 8 or "JR" and then press ENTER.
- 5 Tune in to the desired preset station by "preset tuning" (see "Listening to the Radio").

Presetting Radio Stations

Once you store your favorite stations in memory, you can play them easily. You can preset up to 16 stations — 8 each for FM and AM .

Tuning in to and Storing Radio Stations Automatically (Auto-Memory Scanning function)

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press ENTER until “A” appears in the display. The Walkman starts searching and storing stations. Then the preset number appears.

Note

- Do not remove the power sources until all the stations are stored.

Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

You can preset the stations in any order.

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.
- 4 Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station and press ENTER. The preset number will flash in the display.
- 5 Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to select the desired preset number and press ENTER. The station is preset to the number of your choice.

Notes

- If you cannot complete step 4 or 5 while the indications are flashing, repeat from step 3.
- If you preset a new station to the same preset number, the previously stored station will be erased.

To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 4, instead of tuning in to a station, press and hold TUNE/PRESET + or - until “----” is displayed. Press ENTER while “----” is flashing. The preset number will flash in the display. Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to select the preset number you want to cancel and press ENTER.

Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.
- 3 Press and hold RADIO ON/BAND until “AREA 1” flashes.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press TUNE/PRESET + or - to select “USA” or “Eur”.
- 5 Press ENTER.

- 6 Tune in to and store stations as necessary following the procedure of “Listening to the Radio” and “Presetting Radio Stations”.

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range	
	FM (MHz)	AM (kHz)
USA	87.5 - 108	530 - 1 710
Eur	87.5 - 108	531 - 1 602
Japan (AREA 1-8, JR)	76 - 90	531 - 1 710

- * USA: USA, Canada, and Central and South America
Eur: European and other countries

To receive stations in Japan



Select “AREA 1 to 8” or “JR” in step 4 above.

Using the Menu



Adjusting playback modes

To select playback direction mode

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to PB MODE. Then press SET to select the desired mode.

To play	Select
both sides repeatedly	
both sides once from the FWD side	

To play a tape recorded with Dolby* B NR system

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to PB  NR (Dobly noise reduction). Then press SET to show "".

* Manufactured under license from Dolby Laboratories.

"Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories..

Emphasizing Sound

On the main unit:

- 1 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to SOUND.
- 2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

On the remote control:

- 1 Press SOUND repeatedly. With each press, the indications change.

The indications change as follows:

RV : Sound Revitalizer.

Emphasizes treble sound.

MB : Mega Bass.

Emphasizes bass sound (moderate effect).

GRV : Groove.

Emphasizes bass sound (strong effect).

no message : normal (no effect).

Notes

- If the sound is distorted with the mode "GRV", turn down the volume of the main unit or select other modes.
- You cannot change the mode during fast-forward or rewind.

Protecting Your Hearing — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

On the main unit:

Press MENU repeatedly in the playback, stop or radio mode to set the cursor to AVLS in the display. Then press SET to show “☺”.

On the remote control:

Hold down MODE until “AVLS” appears in the display.

To cancel the AVLS function

Press SET so that “☺” disappears from the display on the main unit.

On the remote control, hold down MODE again until “AVLS” disappears.

Note

- The AVLS setting will be canceled when you replace the battery.

Using Other Functions

Locking the Controls — HOLD Function

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls of the Walkman or the remote control.

To use the tape counter

The tape counter is displayed on the main unit during playback, recording, fast forward, rewind, and stop (except when the radio is turned on). The number will increase when playing back the FWD side, and decrease when playing back the REV side. To reset the counter to “000”, press ENTER/COUNTER RESET.

Notes

- The tape counter may show some deviation.
- The tape counter will not be displayed when the cassette compartment is empty.

R6(AA)

Sony

()

1 (NC-6WM)

⊕ ⊖

2 가 ()

: 3

"Sony " :

1
가

AC

3

300

/

"□"가

() (EIAJ*)

Sony	LR6(SG)**
	31.5
	32
MIC ()	10
	6.5

(NC-6WM)

	8.5
	10
MIC ()	4
	3

Sony LR6(SG)**
NC-6WM

	40
	42
MIC ()	13
	9

* EIAJ (Electronic Industries Association of Japan :

)
(Sony HF
)

**LR6 (SG) Sony STAMINA
()

가

가

가

DC IN 1.5V

AC

AC-

E15L ()
)

AC-E15HG ()

AC

AC-E15HG



1

HOLD

HOLD

2

() ◀▶ () • ■
VOL

◀▶ • REPEAT
)

VOL

VOL

6

2



◀▶•REPEAT

■()

*

FF
FF

가

*

REW

REW

가

/ / FF

9 /

(AMS**)

/ / REW

8 /

(AMS**)

FF 2

()

REW 2

()

*



**Automatic Music Sensor ()

A-B

A-B

(A) (B)

1

A



2

“A-”가

2

“A-B”가

“A-B”가

B

가 A

“REP”가

1

A



2

“A-”가

2

B

“A-B”가

“A-B”가

“REP”가

가 A

A-B



.

• 2

.

가

• A-B

50

• 90

가

가

A-B

“FWD”

2

MIC (PLUG

IN POWER)

1 (TYPE I)

(“ ”

).

3 REC

“REC”가

2

FWD ()*

* “FWD”가

가 “FWD”

, “REV”



FWD ()

FWD

REV (

)**

**“REV”가

가 “REV”

, “FWD”



(



).

AM

- () (TYPE II)
(TYPE IV)

ISS (Interference Suppress Switch :
)

가

가

Ⓞ REMOTE

가

가

VOL

가

- RV , MB , GRV

가

- (RV, MB, GRV), AVLS
- Dolby () BNR

A

B

- REC 2

2 REC

- 10 가

1 RADIO ON/BAND

① SET PRESET

2 RADIO ON/BAND

AM FM

② TUNE/PRESET + -

3 MENU

“_”() TUNE
MODE

’ (“
” “ ”)

4

① SET MANUAL

RADIO OFF

② TUNE/PRESET + -

• AM:

TUNE/PRESET + -

• FM: ()

MENU

FM MODE

SET “MONO”()
) , “LOCAL”, ()
) 가

RADIO ON/BAND
•OFF 1 ()
가)

RADIO ON/BAND•
OFF 1
, PRESET + -

RADIO ON/BAND
•OFF

(Manual Area Call)

9 (, , , ,)
, , , ,)
가

가 ,

30

31

1 RADIO ON/BAND

2 ENTER
가

3 RADIO ON/BAND "AREA
1"

4 "AREA 1"
TUNE/PRESET + - ,
1 8
"JR"
ENTER

5 " ") ("

8 . FM AM
16

(-)

1 RADIO ON/BAND

2 RADIO ON/BAND
AM FM

3 "A"가
ENTER
Walkman

가

()

1 RADIO ON/BAND

2 RADIO ON/BAND
AM FM

3 ENTER

가

4 TUNE/PRESET + -

ENTER

가

5 TUNE/PRESET + -

ENTER

4

5

3

4
 “----”
 TUNE/PRESET +
 - “----”
 ENTER
 가

TUNE/PRESET + -
 ENTER

1 RADIO ON/BAND

2 ENTER

가

3 “AREA 1”
 RADIO ON/BAND

4 “AREA 1”
 TUNE/PRESET + -
 “USA” “Eur”

5 ENTER

6 “ ” “ ”

*

	FM (MHz)	AM (kHz)
USA	87.5 - 108	530 - 1 710
Eur	87.5 - 108	531 - 1 602
	76 - 90	531 - 1 710

(AREA 1-8, JR)

* USA : , , 가
 ` Eur : , , 가

4 “AREA 1 8
 ” “JR”

MENU

PB MODE
SET

FWD



Dolby()* B NR

MENU

PB □□ NR(

SET

“ON”가

* Dolby Laboratories

가

“Dolby” -D
Laboratories

Dolby

1 MENU

SOUND

2 SET

1 SOUND

가

RV : Sound Revitalizer ()

MB : Mega Bass.

()

GRV : Groove.

()

: ()

• “GRV”

가

— AVLS

(Automatic Volume Limiter System:)

:

MENU

AVLS

SET

“☺”가

:

“AVLS”가

MODE

AVLS

“☺”가

SET

“AVLS”가

MODE

AVLS

— HOLD

HOLD

가

REV()

“000”

ENTER/COUNTER RESET

•

•

가

选择电源

干电池

安装附带的电池盒，然后对正确极性装入一节R6 (AA, 3号) 电池。

注

- 为获得最佳效果，建议您使用 Sony 牌碱电池。

充电池

1 以正确极性将附带的充电池 (NC-6WM) 装入充电器。
请注意充电器上的 ⊕、⊖ 指示。

2 把充电器接插到家庭用电源插座。

日本机型：完全充电约需 3 小时。


“Sony世界机型”：完全充电约需 1 小时。

如果插头与所用主电源插座不匹配，请装上附带的 AC 电源插头转接器。

3 将完全充电后的电池装入充电池室。

充电池大约可充电使用 300 次。

何时更换电池／给电池充电

“” 在显示窗中闪烁时，即请更换电池或给电池充电。

电池寿命

(大约时数)

(EIAJ*)

Sony 碱电池 LR6(SG)**

录音带放音	31.5
听收音机	32
MIC 录音	10
收音机录音	6.5

充电池 (NC-6WM)

录音带放音	8.5
听收音机	10
MIC 录音	4
收音机录音	3

同时使用 Sony 碱电池 LR6(SG)** 和充电池 NC-6WM

录音带放音	40
听收音机	42
MIC 录音	13
收音机录音	9

- * 按 EIAJ (Electronic Industries Association of Japan) 标准测定的值。(使用 Sony HF 系列磁带)
- ** 使用 LR6(SG) 型 Sony “STAMINA” 碱电池 (日本制) 时。

注

- 电池寿命, 可能因操作条件, 环境温度 and 电池型式而缩短些。

家用电源

如果装有充电电池, 请将其取出。装上电池盒, 将用于日本的 AC-E15L AC 电源转接器 (未附带) 或 AC-E15HG (未附带) 连接到电池盒的 DC IN 1.5V 插孔和墙上插座。

请勿使用任何其他的 AC 电源转接器。

AC-E15HG 的规格根据地区而异, 在购买之前请核查您所在地区的电压和插头的电极。



插头的电极

播放录音带

- 1 装入盒带, 如果遥控器的 HOLD 功能仍打开着, 即请沿相反于箭头方向滑动 HOLD 开关以释放控制器。
- 2 按遥控器上的 ◀▶ (放音) •■ (停止) 并用 VOL 旋钮调节音量。(主机上, 则请按 ▶•PEPEAT。)

在主机上调节音量时

请把遥控器上的 VOL 控制设定于最大。

在遥控器上调节音量时

请把主机上的 VOL 控制设定于 6 左右。

在遥控器上的操作

要	请按
换播放另一面	播放中按 ◀▶•■ 2 秒以上
停止播放	播放中按一次 ◀▶•■

在主机上的操作

要	请按
换播放另一面	播放中按 ◀▶•REPEAT
停止播放	按 ■ (停止)

其他磁带操作

要	请按
快进绕	停止中* 或播放中, 请按 FF 播放中, 只要按着 FF, 磁带便将继续 快进绕。
重绕	停止中* 或播放中, 请按 REW 播放中, 只要按着 REW, 磁带便将继 续进行重绕。

要	请按
从头播放下一曲/接下 9 首曲子(AMS**)	播放中按一次/ 反复按 FF
从头播放现在放音中曲子/前面 8 首曲子(AMS**)	播放中按一次/ 反复按 REW
从头播放另外一面(跳越倒绕功能)	停止中按 FF 2 秒以上
从头播放同一面(重绕自动播放功能)	停止中按 REW 2 秒以上

* 如果在快进绕或重绕过程中按了遥控器上的◀▶•■, Walkman 将转换为放音。

**自动乐曲探测

A-B 反复

A-B 反复功能反复播放您所指定的录音带的任一部分。请在放音中标记该部分的起点 (A 点) 和终点 (B 点)。

在遥控器上

- 1 在放音中按 ◀▶•■ 键 2 秒钟以上以标记 A 点。
“A-” 将闪烁于主机的显示窗中。
- 2 再按一次 ◀▶•■ 键以标记 B 点。
“A-B” 将闪烁，录音带即被卷绕到 A 点。随着，“REP” 将出现于显示窗中而反复播放所指定的部分。

在主机上

- 1 在放音中按 2 秒 ◀▶•REPEAT 键以标记 A 点。
“A-” 将闪烁于主机的显示窗中。
- 2 再按一下 ◀▶•REPEAT 键以标记 B 点。
“A-B” 将闪烁而录音带被卷绕到 A 点。随着，“REP” 出现于显示窗中而反复播放所指定的部分。

要解除 A-B 反复放音时

请按主机上的 ◀▶•REPEAT，或按遥控器上的 ◀▶•■。

注

- 您不能指定跨越录音带两面的重复部分。
- 您不能指定短于 2 秒钟的重复部分。
- 在反复操作之后，由于录音带的松弛，实际播放的部分可能和所标记指定的部分稍有不同。
- 在恢复普通放音之前，如果不手动取消，A-B 反复将重复 50 次。
- 请勿用长度 90 分钟以上的磁带去使用 A-B 反复功能。否则，该磁带可能会损坏。

录音

您可以从内装的收音机录制广播节目,也可以用附带的麦克风进行录音。无论如何,都请使用新的或充足了电的电池。

注

- 如果防误抹小翼已被折断,则无法在该面录音。

1 插入标准型 (TYPE I) 录音带。

要在两面录音时

将要先录音的面作为 FWD (正) 面 * 插入录音带。

- * 确认是否显示“FWD”。如果没有,请按住 **■** 直到“REV”变为“FWD”。

只要录一面时

将要录音的面作为 REV (反) 面 ** 插入录音带。

- ** 确认是否显示“REV”。如果没有,请按住 **■** 直到“FWD”变为“REV”。

注

- 录音带座打开着时,走带方向将被自动地设定为“FWD”。

2 选择录音源:

要用麦克风录音时

将附带的麦克风连接到 MIC (PLUG IN POWER) 插孔。

要从收音机录音时

请调入您想录音的电台 (参见“听收音机”)。

3 滑动 REC。

“REC”即出现于显示窗中,约 2 秒钟之后,开始录音。

如果您是从 FWD 面开始录音的,在录完 FWD 面时,录音将自动转换到反面。

要停止录音时

请按 **■** (或按遥控器上的 **◀▶•■**) 以停止录音。

要在录 AM 节目时减小噪声

请将 ISS (干扰抑制开关) 设定于能将噪声减至最小的位置。

要监听录音中的声音

您可以用头戴式耳机/耳塞式耳机来监听正在录制的声音。可用 VOL 控制旋钮调节监听的音量。

注

- 在 RV、MB 或 GRV 方式下，您可能在监听的声音中听到一些噪声，但这并不影响录音。

录音须知

- 录音电平被固定。
- 声音增强功能 (RV、MB 或 GRV)、AVLS 和 Dolby B NR 设定不影响录音。
- 实际录音将在您滑动 REC 约 2 秒钟之后开始。请在您要开始录音时刻的约 2 秒钟之前滑动 REC，否则您将错过录音的开始部分。
- 在两面录音时，在录音带换面过程中，录音将有约 10 秒钟不进行。

- 请勿用高位 (TYPE II) 或金属 (TYPE IV) 型的录音带录音。否则播放录音带时声音可能会失真，以前的录音内容也可能不会被完全抹消。
- 从收音机录音时，请勿将耳机接到/拔出 REMOTE 插孔。否则录音条件可能会突然改变，也可能录下噪声。
- 用麦克风录音时，请勿将麦克风靠近电灯线或日光灯，以避免噪声干扰。
- 如果发生啸叫，请调低音量。
- 在录音时所有其他操作都无法进行。要进行其他操作，请先停止录音。

要防止录音带被误录时

请折断 A 面和/或 B 面的防误抹小翼。要重新用该录音带录音，用胶带盖住折断防误抹小翼后的缺口。

听收音机

- 1 按RADIO ON/BAND打开收音机。
- 2 反复按RADIO ON/BAND选择AM或FM。
- 3 反复按主机上的MENU，将主机显示窗中的“__”（光标）设为TUNE MODE。

4 要手动调台时

- ① 按SET选择MANUAL。
- ② 反复按TUNE/PRESET+或-调入所要的电台。
按住TUNE/PRESET+或-数秒以扫描电台。

要预约调谐时

- ① 按SET选择PRESET。
- ② 反复按TUNE/PRESET+或-选出所要的预约电台。
要使用预约调谐时，请先预约电台（参见“调入各地区已预约电台”或“预约电台”）。

要关掉收音机时

按RADIO OFF键。

要改善广播接收效果时

- 收听AM节目时：调转机器方位。
- 收听FM节目时：请拉长遥控器导线（天线）。如果接收效果仍不好，请反复按MENU将主机显示窗中的游标设为FM MODE。然后按SET以便从“MONO”（单耳声）、“LOCAL”或无显示（立体声）模式中选择最佳接收效果。

要从遥控器进行操作时

要打开收音机时，请按RADIO ON/BAND•OFF 1秒以上（限当录音带处于停止状态时）。

要选择波段时，请在打开着收音机时，按下RADIO ON/BAND•OFF 1秒以上。

要调入或选出预调电台时，请向上/向下逐渐调整PRESET+或-。

要关掉收音机时，请按RADIO ON/BAND•OFF。

- 1 按RADIO ON/BAND 键打开收音机。
- 2 按ENTER 键。频率数字即将在显示窗中闪烁。
- 3 按住RADIO ON/BAND键，直至“AREA 1”起闪烁。
- 4 在“AREA 1”闪烁中，反复按TUNE/PRESET+或-键，以便在1至8或“JR”中选一个地区号，然后按ENTER 键。
- 5 利用“预约调谐”调入所要的预约电台。（参见“听收音机”）

调入各地区已预约电台 (手动地区呼叫)

对日本9个地区（札幌、仙台、北关东、南关东、名古屋、大阪、广岛、福冈和新干线）的各地区，Walkman已在工厂预调能接收该地区的主要电台的频率数据。一旦您选择了现在的地区，您就可用预约调谐调入所在地区的电台。有关各地区的工厂预调电台，请参见日语版的第30至31页。

预约电台

一旦在本机的存储器中储存了喜欢的电台，便可简单地操作收听。您最多可以预调 16 个电台—FM 和 AM 各 8 个。

自动调入和储存广播电台 (自动储存扫描功能)

- 1 按 RADIO ON/BAND 打开收音机。
- 2 反复按 RADIO ON/BAND 选择 AM 或 FM。
- 3 按 ENTER 直到“A”出现于显示窗中。
Walkman 即开始搜索并储存电台。
随即出现预约号。

注

- 在所有电台储存完毕之前请勿拨开关掉电源。

手动储存广播电台 (手动储存功能)

您可以按任意顺序预约电台。

- 1 按 RADIO ON/BAND 打开收音机。
- 2 反复按 RADIO ON/BAND 选择 AM 或 FM。
- 3 按 ENTER 键。
频率数字将闪烁于显示窗中。
- 4 反复按 TUNE/PRESET+ 或 - 调入所要的电台并按 ENTER 键。
预约号将闪烁于显示窗中。
- 5 反复按 TUNE/PRESET+ 或 - 选择所要的预约号并按 ENTER 键。
电台即被预约为您所选择的号码。

注

- 如果您不能在指示闪烁着时完成步骤 4 或 5，请从步骤 3 开始重复。
- 如果您给一个新电台预设了相同的预约号，则以前所储存的电台将被抹消。

要取消已储存的电台时

请按照上述步骤操作，在步骤4，不调入电台而按住TUNE/PRESET+或-直到“----”显示出来。在“----”闪烁着时按ENTER键。预约号将闪烁于显示窗中。反复按TUNE/PRESET+或-选择您要取消的预约号并按ENTER键。

在日本国外接收电台

- 1 按RADIO ON/BAND打开收音机。
- 2 按ENTER键。
频率数字将闪烁于显示窗中。
- 3 按住RADIO ON/BAND键直到“AREA 1”起闪烁。
- 4 在“AREA 1”闪烁中，按TUNE/PRESET+或-键以选择“USA”或“Eur”。
- 5 按ENTER键。

- 6 按照“听收音机”和“预约电台”的操作步骤，调入并储存所要的电台。

地区指示和频率范围

地区*	频率范围	
	FM(MHz)	AM(kHz)
USA	87.5-108	530-1710
Eur	87.5-108	531-1602
Japan (AREA 1-8, JR)	76-90	531-1710

* USA: 美国、加拿大和中南美
Eur: 欧洲和其他国家

在日本国内接收电台

在上面步骤4中选择“AREA 1到8”或“JR”。

使用项目单

调整播放模式

要选择播放方向模式时


请反复按 MENU 把显示器中的游标设定于 PB MODE，然后按 SET 以选择所要模式。

要	请选择
---	-----

反复放双面	
-------	---

从 FWD 面放一次双面	
--------------	---

要播放用杜比 *B 减噪系统录的录音带时

反复按 MENU 把显示器中的游标设定于 PB  NR (标比减噪)，然后按 SET 以显示 “”。

* 经杜比实验室授权生产。
“杜比”，“Dolby” 和双 D 标志是杜比实验室的商标。

增强声音

在主机上：

- 1 反复按 MENU 把显示器中的游标设定于 SOUND。
- 2 反复按 SET 以选择所喜欢的声加强模式。

在遥控器上：

- 1 反复按 SOUND，每按一下，指示灯即随着改变显示。

指示灯呈如下显示：

RV：Sound Revitalizer (声音再生器)。
增强高音。

MB：Mega Bass (强低频)。
增强低音 (中等效果)。

GRV：Groove (最佳状态)。
增强低音 (强烈效果)。

无信息指示：普通 (无效果)。

注

- “GRV” 模式时，如果声音失真了，即请转小主机音量或选其他模式。
- 快进绕或重绕时，是不能改变此模式的。

保护您的听觉 – AVLS (自动音量限制系统)

在主机上:

在播放, 停止或收音机模式中反复按 MENU 把显示器中的游标设定于 AVLS, 然后按 SET 以显示 “☺”。

在遥控器上:

按下 MODE 至显示器中出现 “AVLS”。

要解除 AVLS 功能时

按 SET 使主机上的显示器中的 “☺” 消失显示。

遥控器上则再按住 MODE 至 “AVLS” 消失显示。

注

- 当更换电池时, AVLS 设定将被抹去。

利用其他功能

锁定控制器 – HOLD 功能

沿箭头所指方向滑动 HOLD 开关以锁定 Walkman 或遥控器上的控制器。

要利用磁带计数器时

在放音、录音、快进, 倒带和停止 (收音机打开时除外) 时, 磁带计数器显示在主机上。播放 FWD 面时数字增加, 播放 REV 面时数字减少。要将计数器重调为 “000” 时, 请按 ENTER/COUNTER RESET 键。

注

- 磁带计数器显示可能稍有误差。
- 盒带室空着时, 将不显示磁带计数器。

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311

● Fax …………… 0466-31-2595

受付時間：

月～金
9:00～20:00

土・日・祝日
9:00～17:00